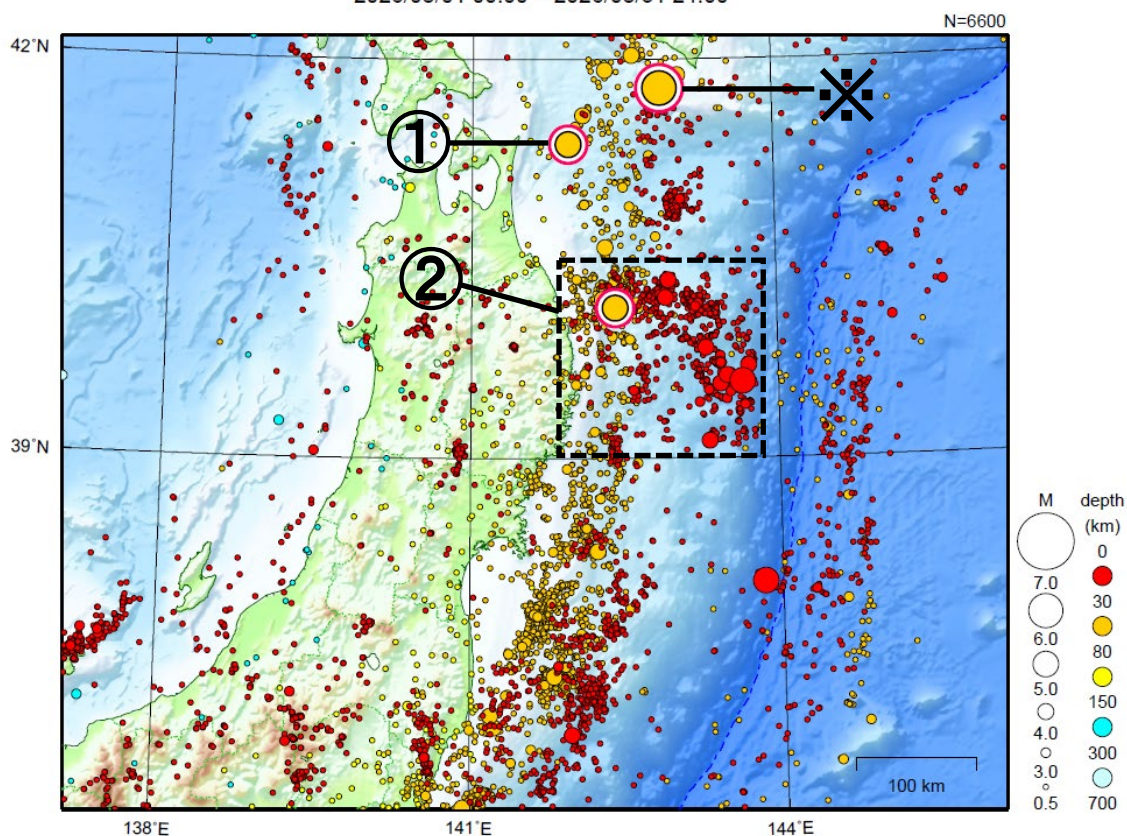


東北地方

2026/08/01 00:00 ~ 2026/08/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 8月1日に青森県東方沖で M5.7 の地震(最大震度 4)が発生した。
- ② 8月9日に岩手県沖で M5.6 の地震(最大震度 4)が発生した。2025 年 11 月以降の三陸沖から岩手県沖にかけての地震活動域では、8 月中に震度 1 以上を観測した地震が 17 回 (震度 4 : 1 回、震度 2 : 2 回、震度 1 : 14 回) 発生した。

※で示した地震については北海道地方の資料を参照。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

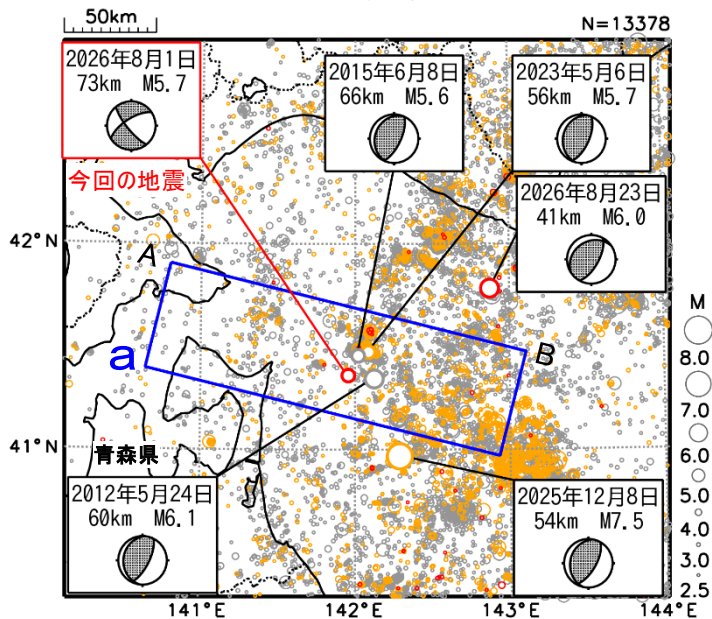
8月1日 青森県東方沖の地震

震央分布図

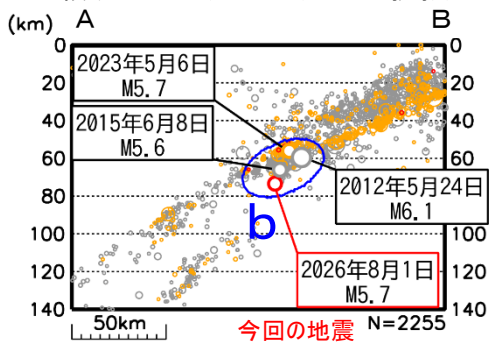
(1997年10月1日～2026年8月31日、深さ0～140km、 $M \geq 2.5$)

○1997年10月1日～2020年8月31日 ○2020年9月1日～2026年7月31日

○2026年8月1日以降 図中の発震機構はCMT解を示す



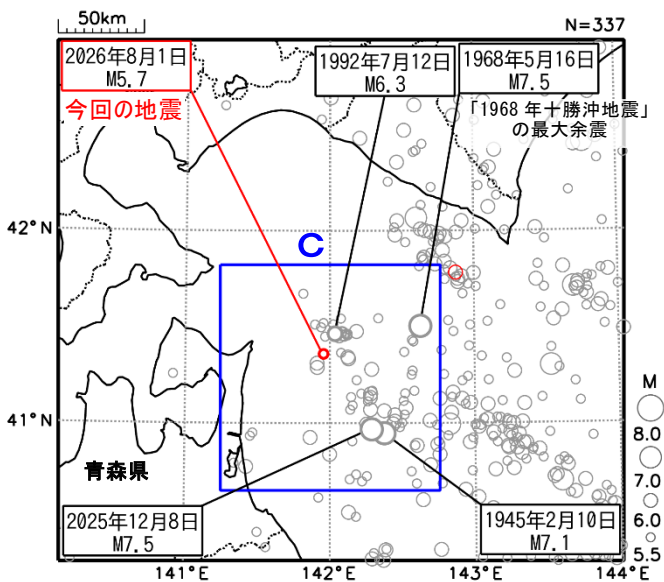
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図

(1919 年 1 月 1 日～2026 年 8 月 31 日、
深さ 0 ～100km、 $M \geq 5.5$)

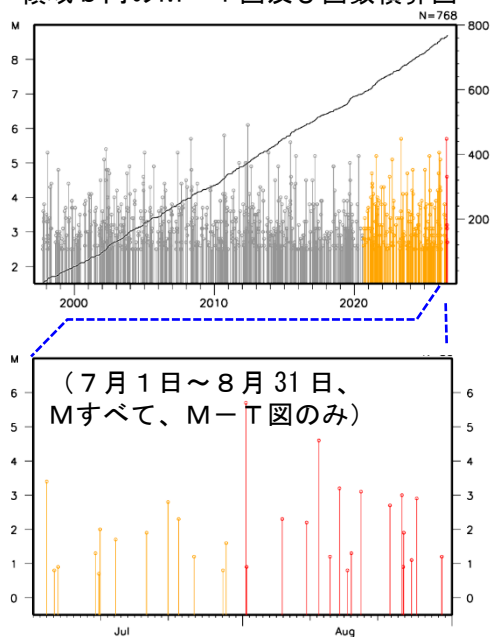
○1919年1月1日～2026年7月31日 ○2026年8月1日以降



2026年8月1日11時48分に青森県東方沖の深さ73kmでM5.7の地震(最大震度4)が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構(CMT解)は、東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

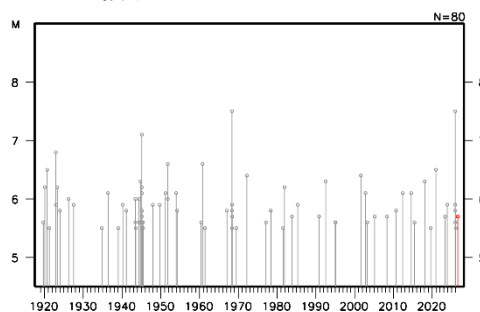
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）ではM5を超える地震がしばしば発生している。2012年5月24日にはM6.1の地震（最大震度5強）が発生し、施設のガラス破損等の被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では2025年12月8日にM7.5の地震が発生するなど、M7を超える地震が時々発生している。1945年2月10日にはM7.1の地震（最大震度5）で死者2人、家屋倒壊2棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域 c 内の M-T 図



8月9日 岩手県沖の地震

(2025年11月以降の三陸沖から岩手県沖にかけての地震活動)

2026年8月9日02時57分に岩手県沖の深さ40kmでM5.6の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

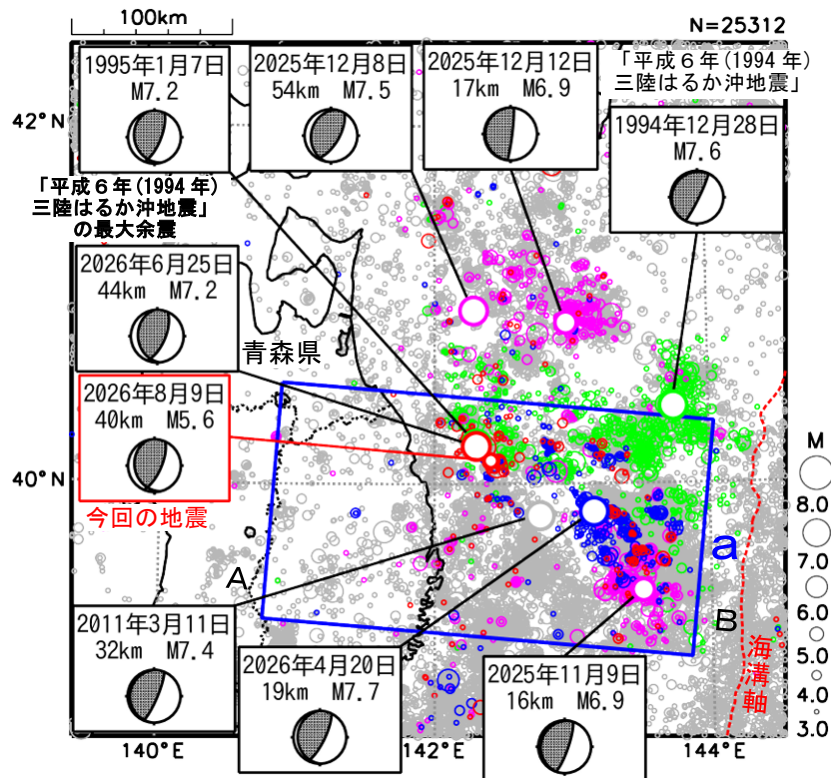
2020年9月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、2025年11月4日からまとまった地震活動が見られるようになり、11月9日にM6.9の地震(最大震度4)が発生した。その後、この地震の北西側で2026年4月20日にM7.7の地震(最大震度5強)が発生すると、地震活動はさらに活発となった。2026年6月25日にはM7.2の地震(最大震度6強)が発生し、その近傍で今回の地震が発生した。

1994年12月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近では、1995年1月7日にM7.2の地震(最大震度5、「平成6年(1994年)三陸はるか沖地震」の最大余震)が発生している。

震央分布図

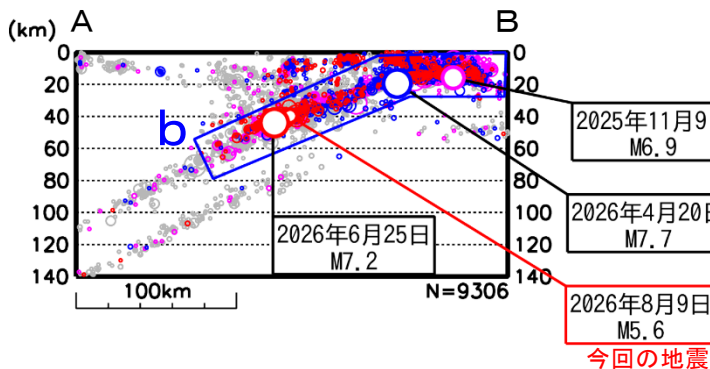
(1994年12月1日～2026年8月31日、深さ0～140km、M≥3.0)

- 1994年12月1日～1995年1月31日
 - 1995年2月1日～2025年10月31日
 - 2025年11月1日～2026年4月19日
 - 2026年4月20日～2026年6月24日
 - 2026年6月25日以降
- 図中の発震機構はCMT解を示す

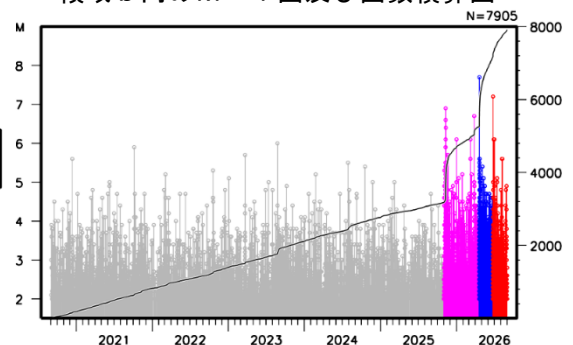


領域a内の断面図(A-B投影)

(2020年9月1日～2026年8月31日、M≥2.0)



領域b内のM-T図及び回数積算図



2025年11月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、2026年4月20日に発生したM7.7の地震以降、地震活動域が北西側に広がり、6月25日のM7.2の地震や7月1日のM6.1の地震、今回のM5.6の地震が発生するなど、地震活動は活発な状態が続いている。

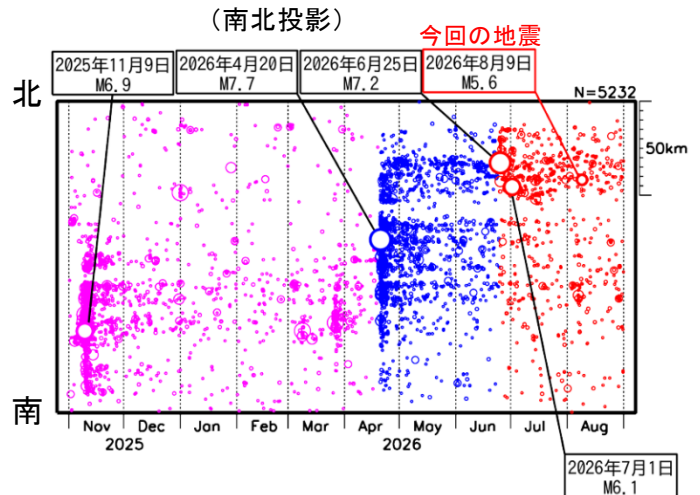
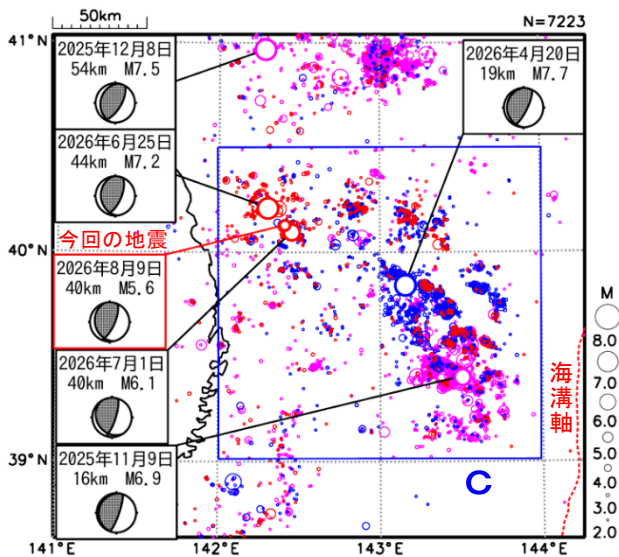
領域cでは、2026年8月1日から31日までに震度1以上を観測する地震が17回（震度4：1回、震度3：0回、震度2：2回、震度1：14回）発生するなど、引き続き地震活動が活発である。

震央分布図及び領域c内の時空間分布図

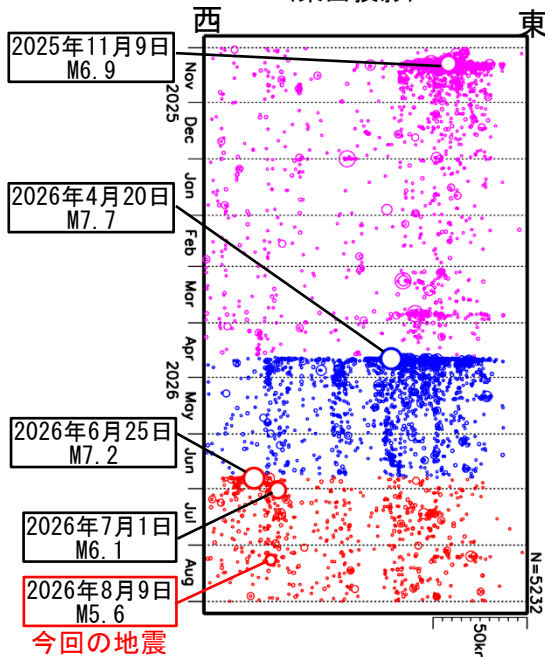
（2025年11月1日～2026年8月31日、

深さ0～80km、 $M \geq 2.0$ ）

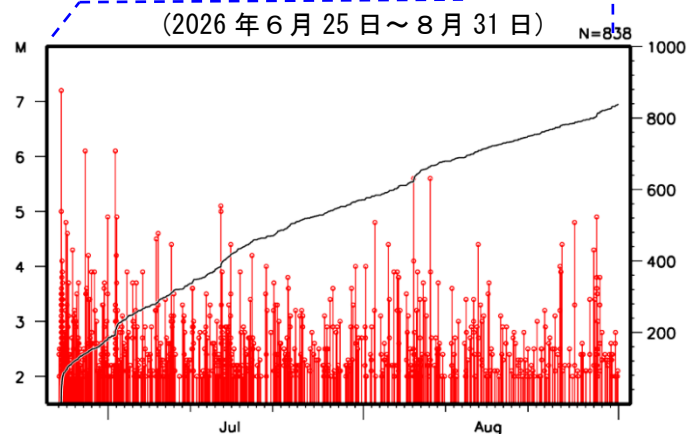
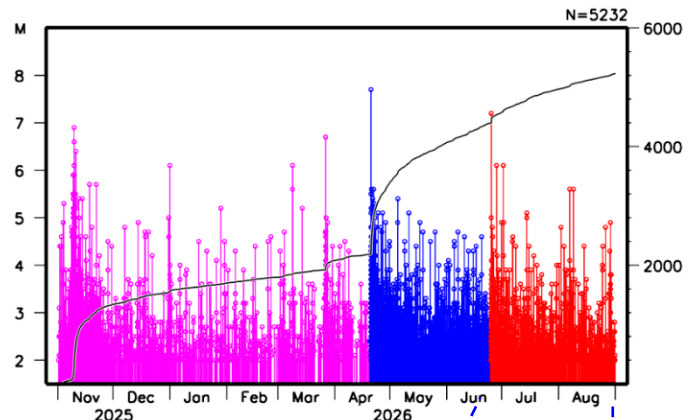
○2025年11月1日～2026年4月19日 ○2026年4月20日～2026年6月24日
○2026年6月25日以降 図中の発震機構はCMT解を示す



(東西投影)



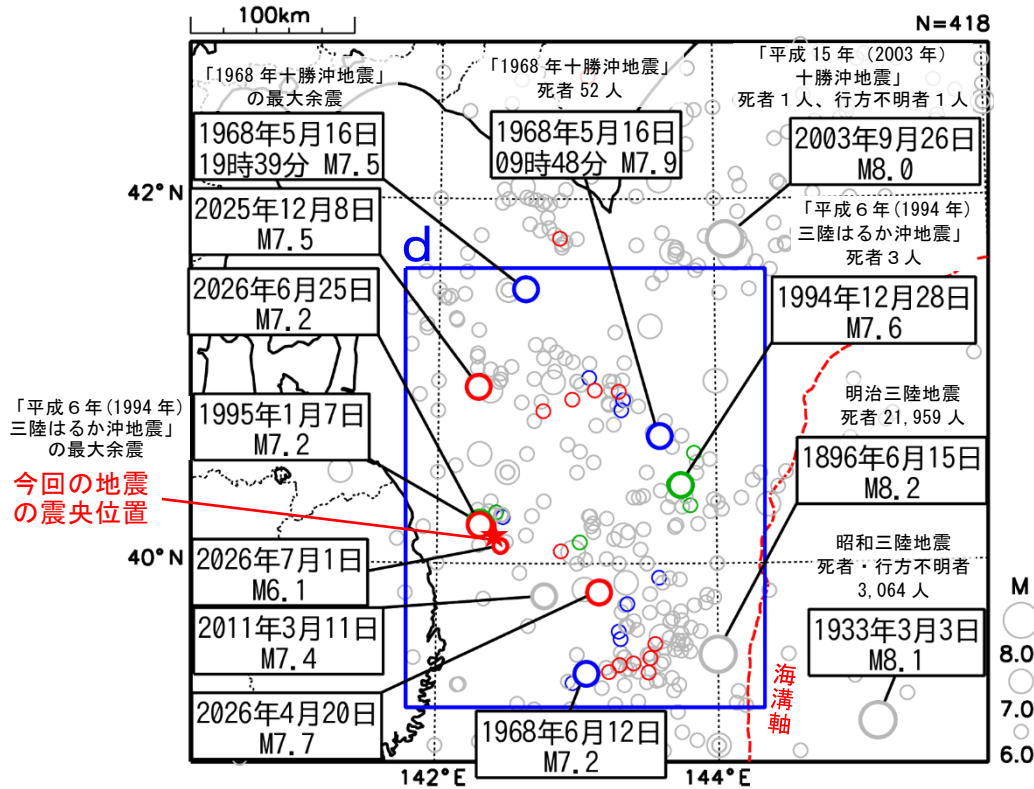
領域c内のM-T図及び回数積算図



1885年以降の地震活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域d）は、M7を超える地震や、それに伴う津波が度々発生しており、地震活動が活発な領域である。1896年6月15日には、M8.2の地震（明治三陸地震）に伴う大きな津波が発生し、死者21,959人に上るなど、甚大な被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

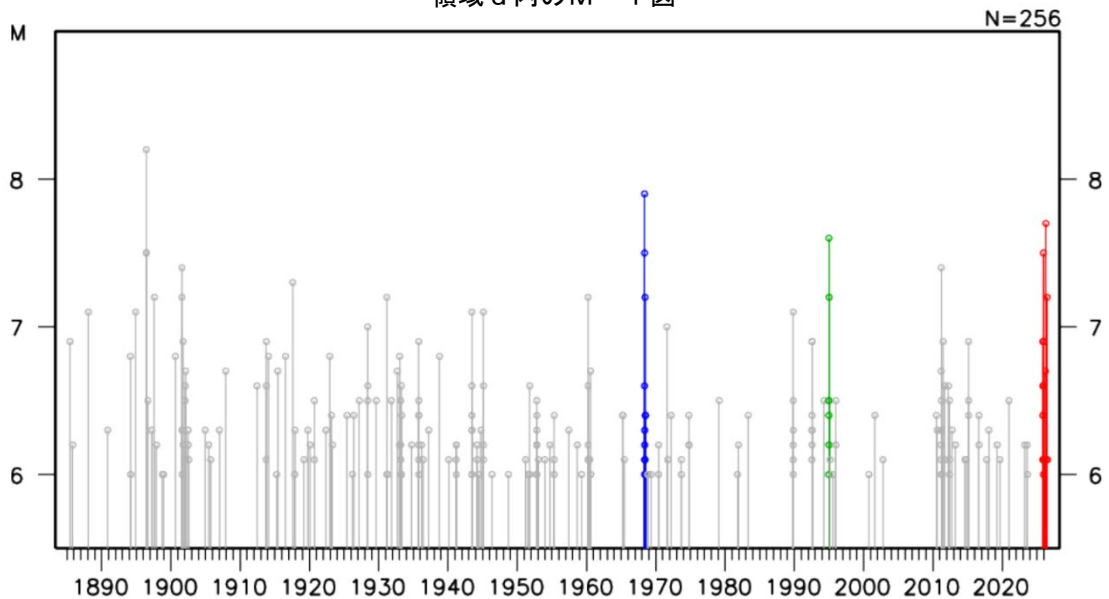
震央分布図
(1885年1月1日～2026年8月31日、
深さ0～100km、M≥6.0)

● 1968年5月16日～1968年7月31日 ● 1994年12月28日～1995年1月31日 ● 2025年11月1日以降
○ 上記以外の期間



震源要素は、1885～1918年は茅野・宇津（2001）、宇津（1982、1985）による※¹。
被害は、「日本被害地震総覧」による。

領域d内のM-T図



※¹ 宇津徳治，日本付近のM6.0以上の地震及び被害地震の表：1885年～1980年，震研彙報，57，401-463，1982。
宇津徳治，日本付近のM6.0以上の地震及び被害地震の表：1885年～1980年（訂正と追加），震研彙報，60，639-642，1985。
茅野一郎・宇津徳治，日本の主な地震の表，「地震の事典」第2版，朝倉書店，2001，657pp。